

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教（産休代替） 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教				
所属学会（役職）	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部）、専門リハビリテーション研究会（編集委員）、肩関節学会、日本軟骨代謝学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	理学療法における症例報告の意義と査読におけるポイント	単著	あり	理学療法 - 臨床・研究・教育	村田健児	2021.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Effects of exercise therapy on joint instability in patients with osteoarthritis of the knee: A systematic review	共著	あり	○	Osteoarthritis and Cartilage Open 2 (4), 2020	Ozone K., Oka Y., Minegishi Y., Kano T., Kokubun T., Murata K., Kanemura N.	2020.11
2	Influence of the site of injury on the spontaneous healing response in a rat model of total rupture of the anterior cruciate ligament	共著	あり	○	Connective Tissue Research Published online: 04 Mar 2021	Oka Y., Murata K., Ozone K., Kano T., Minegishi Y., Kuroo A., Arakawa K., Kokubun T., Kanemura N.	2021.3
3	Effect of Various Types of Muscle Contraction with Different Running Conditions on Mouse Humerus Morphology	共著	あり	○	Life 2021, 11(4), 284	Kawabata S., Murata K., Nakao K., Sonoo M., Morishita Y., Oka Y., Kubota K., Kuroo A., Kita S., Nakagaki S., Arakawa K., Kokubun T., Kanemura N.	2021.3
4	Treadmill Exercise after Controlled Abnormal Joint Movement Inhibits Cartilage Degeneration and Synovitis	共著	あり	○	Life 2021, 11(4), 303	Kano T., Kokubun T., Murata K., Oka Y., Ozone K., Arakawa K., Morishita Y., Takayanagi K., Kanemura N.	2021.3
5	腱板断裂患者における後方関節包タイトネスに着目した保存療法の経過	単著	あり		理学療法 - 臨床・研究・教育 28(1), 29-34. 2021	村田 健児	2021.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Impact of controlling abnormal joint movement on the effectiveness of subsequent exercise intervention in mouse model of early knee	共著		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	Y Oka, K Murata, T Kano, K Ozone, K Arakawa, T Kokubun, N Kanemura		
2	Effect of joint instability on bone-cartilage degeneration in destabilization of the medial meniscus model	共著		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	K Arakawa, T Kokubun, Y Oka, K Ozone, S Nakagaki, K Murata, N Kanemura.		

3	A quantitative study to examine the effect of controlling abnormal joint instability in a mouse model of anterior cruciate ligament tibial displacement and cartilage degeneration	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	T Kokubun, K Arakawa, Y Oka, K Ozone, A Kobayashi, H Takahashi, K Takahata, M Yoneno, K Murata, N Kanemura	
4	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits the transforming growth factor-beta-mediated osteophyte formation	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	K Murata, Y Oka, K Onitsuka, T Kokubun, A Nakajima, K Arakawa, S Nakagaki, N Kenamura	
5	遠心性収縮優位な持続的運動は腱付着部炎を誘発する	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	小曾根 海知, 国分 貴徳, 岡 優一郎, 峯岸 雄基, 高島 啓, 高橋 花菜, 米野 萌恵, 村田 健児, 金村 尚彦	2020.12
6	高強度運動介入による機械的負荷の蓄積はEnthesopathy様の病態変化を惹起する	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	高島啓、小曾根海知、高橋花奈、米野萌恵、荒川航平、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2020.12
7	半月板機能不全による関節不安定性と、圧縮応力の増大が関節軟骨変性に与える影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	荒川航平、諸沢和真、岡優一郎、小曾根海知、中垣澄香、高島啓、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2020.12
8	ラット棘上筋腱再建術後における通常飼育がScx発現量に与える影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	高橋花奈、小曾根海知、米野萌恵、高島啓、宇佐美優奈、荒川航平、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2020.12
9	マウスアキレス腱断裂後治癒モデルにおいて早期可動域運動が及ぼす影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	米野萌恵、峯岸雄基、小曾根海知、高橋花奈、高島啓、宇佐美優奈、荒川航平、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2020.12
10	ラット棘上筋腱修復モデルの治癒過程における簡易的なコラーゲン評価方法の検討	共著	第29回埼玉県理学療法学会	高橋花奈、小曾根海知、米野萌恵、高島啓、武藏晃平、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2021.1
11	ラット足関節拘縮モデルにおける運動介入が足関節及び膝関節の関節包に及ぼす生化学的影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	中尾幸暉、川端空、村田健児	2021.1
12	関節不安定性の制動における滑膜の炎症性サイトカインを抑制効果について	共著	第29回埼玉県理学療法学会	村田健児、岡優一郎、加納拓馬、森下佑里、黒尾彩、荒川航平、中垣澄香、小曾根海知、峯岸雄基、国分貴徳、金村尚彦	2021.1
13	マウスアキレス腱縫合術後における腱治癒過程の顕微鏡観察	共著	第29回埼玉県理学療法学会	米野萌恵、小曾根海知、高橋花奈、高島啓、宇佐美優奈、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2021.1
14	変形性膝関節症患者の関節不安定性に着目した運動療法の効果～システムティック・レビューによる検討～	共著	第29回埼玉県理学療法学会	川端空、中尾幸暉、村田健児、森下佑里、園尾萌香、喜多俊介、久保田圭介、岡優一郎、黒尾彩、金村尚彦、国分貴徳	2021.1
15	変形性膝関節症の進行早期における関節不安定性と滑膜炎の関係	共著	第29回埼玉県理学療法学会	高島啓、荒川航平、高橋花奈、米野萌恵、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2021.1
16	半月板機能不全による関節不安定性の制動が軟骨変性因子に与える影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	荒川航平、高島啓、岡優一郎、小曾根海知、中垣澄香、村田健児、金村尚彦、国分貴徳	2021.1
17	遠心性収縮運動の強度及び頻度の違いが腱骨付着部に及ぼす影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	小曾根 海知, 国分 貴徳, 高島 啓, 高橋 花菜, 米野 萌恵, 岡 優一郎, 峯岸 雄基, 荒川 航平, 村田 健児, 金村 尚彦	2021.1
18	Relationship between joint instability and synovitis in the early stage of knee osteoarthritis	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Kei Takahata, Kohei Arakawa, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
19	Effect of suppression of joint instability on cartilage and meniscus degeneration	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Kohei Arakawa, Kei Takahata, Yuichiro Oka, Kaichi Ozone, Sumika Nakagaki, Kazuma Morosawa, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2

20	Impact of exercise intensity on tendon healing in a rat rotator cuff reconstruction model	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Haruna Takahashi, Kaichi Ozone, Moe Yoneno, Yuna Usami, Kazuma Morosawa, Kei Takahata, Yuki Minegishi, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
21	Achilles Tendon Rupture: Effect of Passive Ankle Dorsiflexion Stretching After Surgical Treatment In Mice	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Moe Yoneno, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuna Usami, Haruna Takahashi, Kei Takahata, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金 (若手)		関節不安定性に基づく関節軟骨の潤滑機構破綻メカニズムの解明 (代表)	研究代表者	2020.4-2023.3
2	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤C)		正常な自由運動と損傷組織への力学的ストレスは前十字靭帯と半月板の治癒を促進させる (共同)	研究分担者	2019.4-2023.3
3	平成31年度埼玉県立大学奨励研究費 (S)		非膨潤性ハイドロゲルを基材とした関節緩衝材の開発と関節内固定への挑戦 (代表)	研究代表者	2019.4-2021.3
(4) その他					
	名称	単・共	学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	発達障害理学療法学・同実習		2	脳性麻痺についての講義	
2	身体構造運動学	○	10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD	
3	運動器理学療法学・同実習	○	12	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD	
4	医科学研究法		1		
5	理学療法研究法		0.5		
6	生体力学応用分析学	○	8	生化学実験研究についての2名1組のハンズオントレーニング	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	理学療法特別演習		0.5	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説	
2	理学療法セミナーⅠ (OSCE1)		8	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当	
3	理学療法セミナーⅡ (OSCE2)		3	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	運動学実習		10	2年生に対し、運動学についての実習を指導	
2	臨床教育実習Ⅰ		2週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当	
3	臨床教育実習Ⅱ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当	
4	臨床教育実習Ⅲ		8週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当	
5	臨床教育実習Ⅳ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当	
6	IPW実習		4日間	4年生に対し、4日間の実習を通して、多職種連携について実践・指導	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	

1	卒業論文	2020.4-2021.3	主指導	2名	副指導	名
2	修士論文		主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）	名
3	博士論文		主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）	名
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法学科3年生 副担任	2020.4-2021.3	学生の指導、面談等を実施			
2	春日部市立看護専門学校（非常勤講師）	2020.4-2021.3	人体の構造と機能に関する講義と試験・国家試験対策			
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ			開催年月
1	臨床実習指導者を対象とした講習会	埼玉県立大学	肩関節疾患の理学療法			2020.9
2	医療法人社団草加整形外科内科 講習会	草加整形外科内科	医療法人社団草加整形外科内科 講習会			2021.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称			任期	
1	埼玉県理学療法学会	学術局編集部			2020.4-2021.3	
2	専門リハビリテーション研究会	編集委員			2020.4-2021.3	
3	第30回埼玉県理学療法学会準備委員	学術局			2020.4-2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称	内容				年月
1	該当なし					
(4) その他						
	項目	相手方等	内容			期間
1	産業支援	草加整形外科内科	院内理学療法士 教育支援			2020.4-2021.3
2	産業支援	やつか整形外科内科	院内理学療法士 教育支援			2020.4-2021.3
3	産業支援	山手クリニック	院内理学療法士 教育支援			2020.4-2021.3
5. 学内運営						
	項目	内容				期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会				2020.4-2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会（実験動物管理者）				2020.4-2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）						
	受賞名	主催			受賞年月	
1	該当なし					
7. 特許の取得						
	特許名	特許番号			登録年月	
1	該当なし					
8. 特記事項						